



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

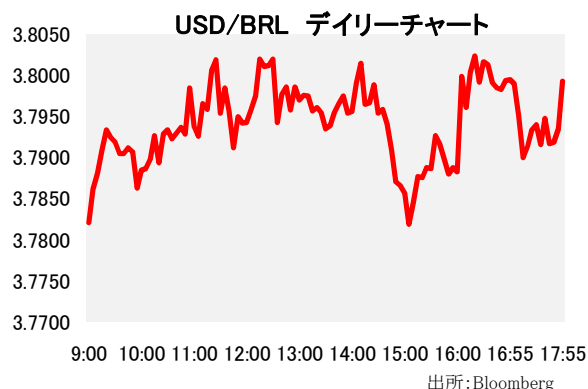
## 1. マーケット・レート

			11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7690	3.7990	3.7800	3.7680	3.7990	+0.0310
	BRL/JPY	Spot	32.11	31.99	32.19	32.68	32.40	-0.28
	EUR/USD	Spot	1.0964	1.0858	1.0885	1.0743	1.0758	+0.0015
	USD/JPY	Spot	121.03	121.54	121.68	123.21	123.10	-0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.773	14.765	14.787	14.788	14.811	+0.024
	Future	1Year(p.a.)	15.296	15.275	15.293	15.318	15.468	+0.150
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	2.770	2.873	3.025	3.096	3.274	+0.178
		1Year(p.a.)	3.370	3.636	3.709	3.830	4.051	+0.221
株式	Bovespa指数		48,054	47,710	48,047	46,919	46,195	-724
CDS	CDS Brazil 5y		401.55	391.58	398.16	405.06	422.10	+17.04
商品	CRB指数		197.557	194.134	192.435	191.034	189.223	-1.81

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

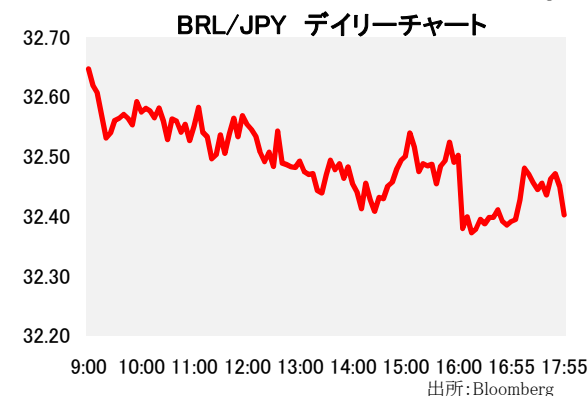
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.80%	0.78%	0.76%
貿易収支(週次)	--	\$144m	\$102m
(米)労働市場情勢指数	0.9	1.6	1.3



## 3. 要人コメント

シルバ伯社会通信局長	ブラジル政府は資金の本国還流に関する法案の議論を予定している。政府による小切手税の承認は最優先事項である。
------------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.7760で寄り付き、直後に高値となる3.7700をつけた。先週末に発表された米10月雇用統計が市場予想を大きく上回ったことを受けて朝方からドルが堅調に推移する一方で、週末に発表された中国の10月貿易収支が予想より弱かったことを受けて、リスクオフムードで新興国通貨が売られた。レアルは正午にかけて本日の安値となる3.8050までじりじりと売られた。その後、一時3.78台前半まで買い戻される場面もあったが、米国のローゼン格林・ボストン連銀総裁が12月の利上げが適切になる可能性があるとの考えを示すとドルが反発してレアルは再び3.80台まで下落し、結局3.7990でクローズした。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-3.05%から-3.10%に17週連続で下方修正され、2016年予想も-1.51%から-1.90%に大幅下方修正された。インフレ率は2015年予想が9.91%から9.99%に上方修正され、2016年予想も6.29%から6.47%へ14週連続で上方修正された。
- 週末に発表された中国の10月貿易収支は輸出が前年比-6.9%、輸入が同-18.8%といずれも市場予想を下回った。これを受けて欧州と米州で株式市場が全面安の展開となった。ボベスパ指数は2日続落となり、原油価格も続落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。